

うまやど市場通信

発行：うまやど商店
(未来創造マネジメント株)
2025年5月25日

零-1号

「うまやど市場」始動。

去る2025年4月6日、スーパーにしがき間人店が閉店いたしました。その2ヶ月前ほどにその噂を耳にし、間人の町の活性化に取り組む私たちは、驚愕しました。

スーパーというのは長きにわたる歴史のなかでいつしか、そこにあって当たり前の存在となります。

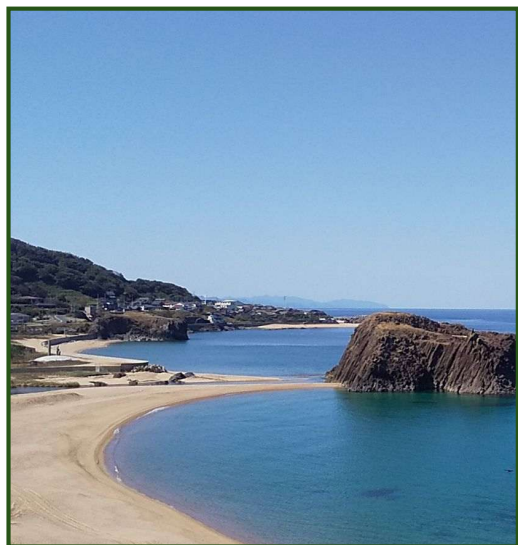
きつとにしがき間人店も、間人の皆さんにとって生活の一部であり、いわば「生活インフラ」と言っても過言ではない、そんな存在だったのだらうと思います。

スーパーがその町に果たす役割は、小さなものではありません。スーパーが消えると、当然その町の利便性は大きく損なわれ、場合によっては「町の中心」が喪失してしまいます。買い物に訪れることで自然と人と出会い、語り合う。そんな憩いの場が失われてしまうのです。

お店までブラブラ歩いて買い物に出かける、そんな機会もずいぶんとなくなることでしょう。

このようにスーパーがなくなることは、その町の魅力が大きく損なわれてしまうことを意味します。

そんな「衰退への大きなターニングポイント」をなかったものとするべく、私たちは立ち上がることにしました。



「うまやど商会」について。

私たち「うまやど商会」は奈良に本拠を置きつつも間人の魅力に取り付かれ、その一方で外部からこの町を眺めて僭越ながらこの町の将来に危機感を抱き「私たちがこの町にできることはないか」ということで間人の活性事業を始めた組織です。現在3つの貸別荘と1つの賃貸住宅を運営しております。コンセプトは、「間人を次の世代に」

「間人と奈良の架け橋に」です。

間人の活性化のために間人に投資をして、そこで得た利益は間人の町に再投資をする。そんな活動を通して間人の町を潤してまいります。

素人の、挑戦。

これから私たちは「食品・日用雑貨小売店」の7月中旬オープンを目指して走り始めます。

しかし私たちはこれまで食品販売はもとより、商品小売りの経験すらない素人です。

しばらくは「スーパー」と名乗るのがおこがましいほどのことしかできないだらうと思います。

最初は生鮮食品の取り扱いも難しいでしょう。そこでまずは住民の皆さんの利便性を最優先に商品ラインナップを考え、そこから徐々に充実したお店へと変化させていきたいと思っています。いろいろ至らないことも多いかと思いますが、暖かい目で当店の成長を見守っていただけたらと思います。